

みずほCustomer Desk Report 2024/05/07号 (As of 2024/05/06)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	153.63	1.0758	165.37	1.2540	0.6609
SYD-NY High	154.01	1.0790	165.97	1.2593	0.6638
SYD-NY Low	152.75	1.0750	164.41	1.2539	0.6606
NY 5:00 PM	153.89	1.0769	165.73	1.2550	0.6625
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,852.27	176.59	日本2年債	-	-
NASDAQ	16,349.25	192.92	日本10年債	-	-
S&P	5,180.74	52.95	米国2年債	4.8316%	0.0281%
日経平均	-	-	米国5年債	4.4860%	0.0061%
TOPIX	-	-	米国10年債	4.4864%	▲0.0101%
シカゴ日経先物	38,905.00	520.00	独10年債	2.4745%	▲0.0340%
ロンドンFT	-	-	英10年債	-	-
DAX	18,175.21	173.61	豪10年債	4.4010%	▲0.0190%
ハンセン指数	18,578.30	102.38	USDJPY 1M Vol	8.96%	▲0.50%
上海総合	3,140.72	35.90	USDJPY 3M Vol	9.35%	▲0.17%
NY金	2,331.20	22.60	USDJPY 6M Vol	9.51%	▲0.16%
WTI	78.48	0.37	USDJPY 1M 25RR	▲0.71%	Yen Call Over
CRB指数	287.61	1.10	EURJPY 3M Vol	8.95%	▲0.18%
ドルインデックス	105.05	0.02	EURJPY 6M Vol	9.26%	▲0.15%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月3日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	4月 175k	240k
	21:30	米 失業率	4月 3.9%	3.8%
	21:30	米 平均時給(前月比)	4月 0.2%	0.3%
	21:30	米 平均時給(前年比)	4月 3.9%	4.0%
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	4月 49.4	52.0
5月6日	18:00	欧 PPI(前月比)	3月 -0.4%	-0.4%
	18:00	欧 PPI(前年比)	3月 -7.8%	-7.7%
5月7日	01:50	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	「現在の金利水準でインフレを2%に戻せると、私は楽観している」	
	02:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「最終的には利下げが行われるだろう」	

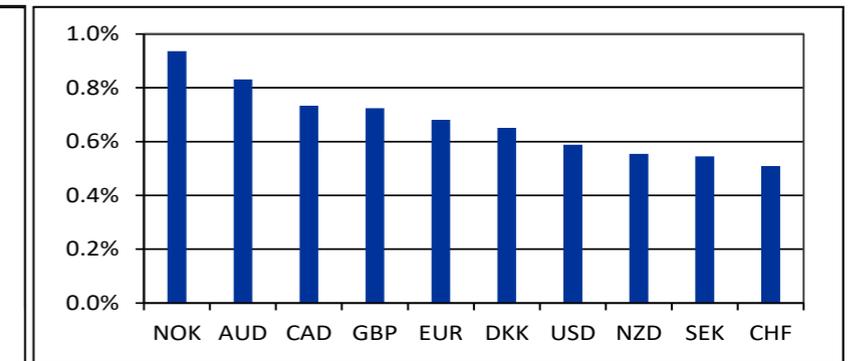
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月7日	13:30	豪 RBAキャッシュレイト	7-May 4.35%	4.35%
	15:00	独 製造業受注(前月比)	3月 0.4%	0.2%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	3月 0.7%	-0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	152.00~156.00	1.0700~1.0800	163.50~167.0

【マーケット・インプレッション】

連休中のドル円相場は、値動きの激しい展開となった。東京時間2日午前中はドル買い円売りが優勢となり、156円台前半まで上昇する場面が見られたものの、その後は軟調な推移となり、週末に公表された米雇用統計で非農業部門雇用者増加数が市場予想を下回ると151円台後半まで下落。一方で、ISM非製造業景況指数において仕入れ価格指数が予想を上回ったことにより、インフレ警戒感が改めて意識されたことなどから、再びドル買い円売りの流れが強まり、昨日は154円ちょうどまで値を戻す場面が見られた。本日のドル円は堅調な推移を予想する。連休中に動けなかった実需の輸入勢が本格的に動き出す可能性があり、東京時間を通してジリジリと上値を試す展開になろう。米国と日本におけるマクロ経済環境の違いは明白であるだけに、円はドルに対して売られやすい地合いがしばらく続きそうである。

東京	アジア時間のドル円は153.63レベルでオープン。東京休日で市場参加者が少ない中、閑散としたマーケット。特段材料はなかったものの先週の介入と思われる動きが落ち着き、レート水準としても警戒感が薄れていたことから朝方から上昇。アジア時間昼頃には154.01まで上昇したが、その後は上値重く153円台後半で推移し153.82レベルで海外時間へと渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	休場
ニューヨーク	海外市場のドル円は153円台前半でスタート。東京とロンドン市場が休場の中、円売りが優勢となり、154.01まで底堅く推移する。しかし、その後は伸び悩み反落し、153.76レベルでNYオープン。午前中は米金利が上昇する動きを横目に、買い戻しの流れとなり、高値の154.00まで戻す。しかし、その後は海外時間に付けた154.01を上抜け出来ず、失速し153.90近辺まで反落。午後はバーキン・リッチモンド連銀総裁の「現在の金利水準でインフレを2%に戻せると、私は楽観している」や、ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁が「最終的には利下げが行われるだろう」との発言が伝わると、153.80近辺まで下落。続いて米上級融資担当者調査の結果が発表されるも、特段材料となる内容が見当たらなかったためか、反応薄。その後は153.90付近での小動きが続き、153.89レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。手掛かり材料が乏しい中、1.0770近辺を挟んだ狭い値動きが続き、1.0773レベルでNYオープン。午前中は米金利が上昇する展開を受け、1.0770付近まで下落。午後米短期金利が高水準で推移する展開が一段の重しとなり、終盤に掛けては1.0766まで値を下げ、その後1.0769レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。